

1	指定管理者名	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団
2	指定期間	令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日(1年間)
3	業務の範囲	1 児童館の事業の実施に関すること。 2 児童館の維持管理に関すること。 3 目的外使用許可にかかる事務に関すること。 4 児童館運営委員会の設置、運営管理に関すること。 5 事業評価に関すること。

4. 採点表		評価項目		細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等	得点
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況 (10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	10	平均値比(注) 105%以上:10点、 105%未満～95%:8点、 95%未満～85%:6点、 85%未満:4～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値		開館時間中(10:00～18:00)は、自由来館としている。 ※新型コロナウイルス感染症対策として消毒時間(13:00～14:00)を設けているため、13:00～14:00は児童館利用をご遠慮いただいている。	—	
			②利用人数			平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値		令和4年度は、夏頃コロナ感染者が増え、地域の夏まつりは中止となった。コロナ禍でも工夫した結果令和3年度から令和4年度の来館者数はどの年齢層も増加したが、夏に感染者がかなりの数に上り、来館者数はそれほど伸びなかった。また、母親の職場復帰も多く、乳幼児数は減少した。 【令和4年度】来観者数 10,579人 乳幼児:1,624人、小学生:5,953人、中高生:281人、大人:2,721人 【令和3年度】来館者数 10,252人 乳幼児:1,732人、小学生:5,768人、中高生:325人、大人:2,427人 ※来館者数と事業参加者は異なる数え方をしています。	8点	
						平均値比(上記(1)適用) ※今回は指定管理1年目の評価のため、上記(1)を適用する 103%≒利用人数(延べ人数 10,579人)÷10,252 人 新型コロナウイルス対応一律8点(令和2・3年度と同様)				
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況 (仕様書内)(15点)	15	仕様書以上:15～12点、 仕様書に忠実:11～9点、 仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、 仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、 それ以下:2～0点	・乳幼児と保護者を対象とした事業(計48回開催、延べ545名参加) ・児童を対象にした事業(計61回開催、延べ526名参加) ・地域交流事業、多世代間交流事業(計1回開催、延べ61名参加) ・中高生事業(計6回開催、延べ45名参加) ・子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進(計17回開催、延べ76名参加) ※別紙:事業評価表 参照	仕様書以上 13点	・乳幼児クラブは、全市的に会員数が減少傾向にある中、回数・参加者数が増加した。 ・児童館まつりは、コロナ対策に留意しつつ、制限なく開催することができた。 ・小学生クラブは、地元行事が中止されるなど、発表の機会は少なかったが、意欲的に取り組んだ。 ・地域交流事業では、3年ぶりに児童館まつりが開催でき、盛り上がった。 ・中高生ボランティア事業は、多治見中学の輝き隊に依頼し、力を発揮してくれた。 ・子育て支援事業のクッキングを3年ぶりに開催、養正地域社協と初めて共催し、伝承遊びを開催、ともに好評であった。	13点		
(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	15	内容・事業数等が期待以上:15～12点 例年通り:11～9点、 例年よりやや劣る:8～7点、 例年より劣る:6～3点 例年よりかなり劣る 2～0点	・乳幼児と保護者を対象とした事業(計41回開催、延べ333名参加) ・児童を対象にした事業(計60回開催、延べ473名参加) ・地域交流事業、多世代間交流事業(計54回開催、延べ793名参加) ・中高生事業(計11回開催、延べ47名参加) ・子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進(計10回開催、延べ62名参加) ※別紙:事業評価表 参照	期待以上 13点	・コロナの影響はあったが、地域のご協力を得ながら可能な範囲で事業を実施している。 ・乳幼児事業は、前年度並みの事業を行ったが、コロナ3年目を迎え工夫して参加者は増加した。 ・児童対象事業では、記録を競う運動など参加者が増えたが、館イベントでは減少した。 ・地域交流事業では、NPO法人のご協力で、初めてマンカラ大会を開催した。子ども達は真剣に取り組み、対戦は盛り上がった。 ・中高生事業は、3年ぶりに乳幼児とのふれあい事業が実施できた。 ・子育て支援事業のプレベビーサークルは母親達の交流の場であり、次年度のベビーズクラブに繋がっている。	13点				

評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等	得点
2	施設管理状況 (25点)	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する 適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点	屋内・トイレの清掃:毎日 備品の清掃:毎日 ガラス・照明器具の清掃:随時 館庭の清掃:週2〜3回等の定期清掃、日常清掃を実施。 駐車場、児童館周辺、公園等も、定期的に清掃している。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点
			②保守・点検			電気工作物・運動器具・保守点検:委託により実施	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			③保安・警備			非常通報装置・消防用設備:委託により実施	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			④小規模修繕			・輪転機保守修理(29,700円) ・遊戯室網入り硝子割替え(26,070円) ※10万円未満であったため、仕様書の定めにより、指定管理者の負担で修繕・修理を行った。	適正(普通) 2点	修繕箇所が発生した場合は、遅滞なく対応されている。	
			⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			・毎月の定期点検により危険箇所の有無について確認。	適正(普通) 2点	日常の業務の中で危険箇所を把握し、適正に対応されている。	
		(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する 期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	文書目録を作成し、重要書類はすべて、鍵のついたスチール棚に保管。	適正(普通) 2点	文書目録を作成し、それに基づき適正に管理されている。	10点
			②環境への配慮			・「節電・節水に努める」 利用者のいる部屋のみ照明をつける、使用していない電化製品のプラグは抜く、冷房の設定温度を28度に設定。プール遊びで残った水は内水にして暑さ対策にする。夏は高窓を開け風通しを良くする、冬は床にマットやじゅうたんを敷くなど、季節に合わせた環境設定でエネルギーの浪費を抑えている。 ・「廃材や消耗品の再利用」 コピー等は館内のものはできる限り裏紙を使う。 乳幼児クラブや館内の工作行事では、期限切れのチラシや牛乳パック、豆腐の入れ物、トイレットペーパーの芯、トレイ、ペットボトル等、様々な物を活用し、その便利さに気付かされる事もあった。 関係機関への連絡はメールを利用。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			③バリアフリー			玄関に手すりを設置しており、トイレは洋式化している。 廊下に障害物を置かない様に努めている。 廊下のガラス戸に飛散防止フィルムを貼る。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			④備品管理			備品台帳の原本は子ども支援課で保管。コピーを適正に管理している。年1回照合。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑤個人情報保護			労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団として『個人情報保護規定』を作成し、情報は施錠保管のうえ管理している。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする 事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等の対応に不備あり:△1点	事故なし	事故なし・対応に不備なし 0点	ワーカーズコープとして、保険に加入している。	0点
3	当該施設の経営状況 (-点)	①事業収支			施設の特性から評価対象外の項目	(参考)収入 11,029,955円 ÷ 支出 9,910,235円 ≒ 111% <u>収支状況が必ずしも管理運営状況を反映するのではないため、評価対象外とする。(令和3年度から)</u>			

評価項目		細目		配点	採点基準		実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
4	より良い施設運営のための取組(35点)	(1)市民・利用者の声の反映(20点)	①ニーズの把握・事業への反映	15	期待以上:15～12点、 適正(普通):11～9点、 普通未満～物足りない:8～0点	・クラブ終了時や事業開催後などに、感想や意見を聞く場を設け、参考にしている。ちびっこクラブでは保育園訪問をしているが、他のクラブでも希望する方は一緒に出かけるようにしている。 ・友達同士や家族、親子で調理をする公民館共催事業の「クッキング」は、毎年楽しみにされている行事であった。コロナ禍では調理ができず工作を行っていたが、3年ぶりに復活し、コロナ感染防止の為に持ち帰りではあったが、参加者にはとても好評だった。 ・まちづくり市民会議と共催で、乳幼児と小学生のクリスマス会を開催している。要望の多かった園児対象のクリスマス会も2年目となり、土曜日開催の園児と小学生のクリスマス会では中高生ボランティアにも協力してもらうことができた。	期待以上 13点	利用者の意見を聞く機会を設け、事業に反映させている。 コロナの影響で中身を変えて実施している事業もある。	13点		
			②苦情対応	5	期待以上:5点、 適正(普通):4点、 不備あり:3～1点 ※苦情なしは5点とする	苦情なし。	期待以上・苦情なし 5点	ワーカーズコープとして、苦情解決第三者委員を設置している。	5点		
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)		15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が期待以上:15～12点、 適正(普通):11～9点、 普通未満～物足りない:8～0点	坂上児童館の建物は坂上公民館の機能も備えており、地域の方の拠点にもなっている。地域の会議等も行われる為、地域にとって児童館は関わりの深い場所であり、日々の運営や行事等についても協力的である。また第2区には行事指導員の方々がいてくださり、地域の行事だけでなく児童館事業にも協力いただいている。また令和3年7月より養正地域福祉協議会の事務所も児童館内に設置され、相互に協力し合うだけでなく、企画していた共催事業を実施し好評であった。令和5年度は回数を増やして開催しようと話し合っている。 隣接する坂上公園は子ども達とごみ拾い等を行っている。公園内での子どものケガ等は勿論のこと、樹木の枝折れ等の危険、トイレ、遊具、水道の不具合、忘れ物等は児童館に連絡がくるので、その都度できる範囲内で対処し、必要があれば関係機関に繋いでいる。 ・施設管理に一番重要な人員確保の為に、常時勤務する以外の臨時有資格者を登録し、大きな事業や学校休業日・長期休暇中など来館者の多い場合や急な職員の欠勤に対応できるようにした。 ・労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団では、『全国子ども・子育てケアプロジェクト』を組織し、子育て・子育て・障がい児支援の大規模な研究交流を行っている。 毎月「全国子育てWEBミーティング」10月23日「全国子ども子育てケアプロジェクト会議」2月18日～19日「全国子育てフォーラム」(オンライン) ・11/13～14「実践交流集会」子育ての中で体験する事の重要性を実践報告と共に学習した。 ・2/27～28「全国事業推進会議」子育て分科会のほか、年間全国規模の研究交流会を計8回開催。(オンライン)・東海事業本部においても「東海事業本部子育てPJ会議」毎月開催。(オンライン) ・愛知岐阜静岡エリアブロックにおいて研究交流会および経理研修を計6回開催した。(オンライン) ・法人内児童館職員全員参加研修を毎月第2月曜日を基本に開催した。(新型コロナ対策・次亜塩素酸水活用法・密を避ける遊びの工夫・公共を担う仕事・熱中症予防健康管理・SDGs・児童館ガイドライン・リスクマネジメント・子どもの権利・ぎふ木育など専門性を高める研修) ・下記他団体の研修会に参加し、未参加者へは伝達研修を行った。 【主催:岐阜県児童館連絡協議会】・12/16館長研修会「コロナ禍の児童館運営について」児童健全育成推進財団理事長 鈴木一光先生 ・11/12東濃ブロック児童厚生員研修会「個別支援のあり方」児童心理療育施設桜学館施設長 児玉俊郎先生・11/18東濃地区児童館職員等研修会「コロナに対応した運動あそび」ルーデンスジャパン 山田恭平先生「児童発達理論」岐阜聖徳学院大学 高村和代先生「虐待講話」東濃子ども相談センター 小池智明先生	期待以上 14点	・地域行事へ職員の参加や、地域との積極的な連携を行っている。 ・隣接する坂上公園の清掃、公園内での子どものケガなどにも配慮している。 ・施設管理の人員確保の為に、臨時有資格者を登録している。	14点		
5	その他(減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、 一部遅れ・不備あり(中程度):△2、 一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	提出書類の遅れなし。	遅れ・不備なし 減点なし	適正に実施されている。	0点			
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、 対応等が期待以下(軽微):△1、 対応等が期待以下(中程度):△2、 対応等が期待以下(それ以下):△3	市からの指示等なし。	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	適正に実施されている。	0点			
	合計		100	【4段階評価】 極めて良好100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討44点以下						86点	
									全体的な評価 ・極めて良好な管理が行われている。 ・プレベビー事業が乳幼児クラブの参加につながっている。地域社協との共催事業も実施し、関係機関と連携して進めている。	極めて良好	